

ただいま入学を許可されました高等学校407名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。そして、保護者の皆様、お子様のご入学心よりお祝い申し上げます。本日はPTA会長<sup>いなばまき</sup>稲葉真貴様、部活動後援会会長<sup>いわいかずよし</sup>岩井一好様のご臨席を賜り、第26回入学式を挙げてまいりますこと、大変喜ばしく思っております。

さて、新入生の皆さん。皆さんが来校されたオープンキャンパスや学校説明会で私が言った言葉を覚えているでしょうか。「勉強の意味とは何か。それは、自分探しの旅に出るためである。自分とは何か、自分は何ができるのか、この社会の中のどの分野でどんな役割を担っていけば充実した人生を送ることができ、また、人々の平和のために貢献できるのか、そのことを探すために学ぶのだ。」と。こう申し上げました。「自分探しの旅に出る」ことこそが青春であり、高校生活であると私は思うのです。

今、1000日の旅のスタートの合図が鳴りました。ゴールは当然はるか遠くにあり、まだ見えるはずもありません。皆さんのまなざしの向こうには大きな夢や希望、あるいはあこがれと呼べるものが横たわっているはずです。しかし、それらはまだ漠然としたもので、そ

の輪郭さえはっきりしていないかもしれません。

人は未知なるものには少なからず怖れを感じるものです。それゆえ変化には勇気が必要となります。若者が過去を語るようになったら、それは将来への意欲を失った時です。夢や希望に向かって突き進んだ時、抵抗を感じることも多くあるでしょう。それは「自分が前に進んでいる」ということなのです。抵抗があったからといって、「これは無理だ、できない」と言ってあきらめてしまうことは、ただ行動したくない言い訳をしたに過ぎません。

抵抗があっても、それを上回る推進力があれば前に進むことができます。その推進力こそが意志の力、本気度です。行動しなかったことは、誰のせいにもできません。能力の差ではありません自信の差なのです。自分の目標に向かってやり抜く力が大事なのだと私は思います。

自分の良いところを見つけてください。たくさん潜んでいるであろう可能性を信じ発掘してください。皆さんは一人ひとり素晴らしいものを持っているのです。

どうか「頭にも、心にも、体にも汗かく青春」を送り、1000日の旅が終わるときには、希望というものを手に握りしめ、この学び舎を旅立って行ってほしいと願います。

さて、22世紀は77年後にやってきます。人生は100年時代を迎えています。皆さんは2101年の22世紀を生きるでしょう。そして同時に22世紀を作っていく次の世代を育てるという役割も担っています。想像もつかない未来社会が待っていると私は思うのです。

今から77年前は昭和22年1947年です。日本国憲法が施行された年です。日本は依然としてアメリカGHQの統治下であり、終戦後の混乱で世情は不安定でした。食糧不足は深刻化しておりカロリー不足で栄養失調で苦しむ国民が多くいました。テレビなど電化製品はなく情報社会の基となっているコンピュータもまだまだ開発されたばかりで実用化の段階には程遠い状態でした。家庭にあった電化製品と言えばラジオ。それも一般家庭で普及率は50%を超える程度。もちろん各家庭に電話などはありません。

そんな 77 年前の暮らしぶりから現在を見ると生活様式の変化、科学や医学の進歩は隔世の感があり、驚くべきことなのです。一人ひとりが携帯電話を持つ時代になるなど誰が思い描いたのでしょうか。日進月歩と言われる科学の進歩、その進歩は加速されどんな未来が出現するのか想像すらできません。ロボットや A I の登場は私たちの生活を劇的に変えていくでしょう。

ぼんやりと輪郭を現わしている 22 世紀を見据えて皆さんは学び続けなければなりません。それは皆さんに課せられた責務です。しかし、どんな未来がやってこようとも、その未来社会は安心で安全であり、そして自由で平等で平和な社会でなければならないということです。この 3 つのことが成り立って、初めて幸福は訪れます。皆さんには自由で平等で平和な社会を作るという大きな責任があります。どうかその自覚をもって幸福な社会を作るためにはどうすればよいのかを学ぶ 3 年間であって欲しいと願います。ドラえもんが暮らしている 22 世紀は、争いのない思いやりに満ちた笑顔あふれる社会であると私は信じています。

満開の桜、碧く光る太平洋そして秀麗富士がみなさんの門出をお祝いしています。1000日のドラマは今、スタートしました。人生で一番短い3年間、青春って忙しい、夢中って無敵。約束された1000日の日々をかけがえのない青春の日々を悔いなく駆け抜けてほしい。私はそう願っています。

素晴らしい学校生活となることを、祈念いたしまして「告辞」といたします。入学おめでとう。